

病児保育室「あんず」のチョットアノネ

テーマ：麻しん(はしか)に注意

No96. (2025. 5. 20.)

麻しんの国内での流行

日本国内では 2015 年 3 月 27 日に「麻しん排除状態」(新しく国内で麻しんが発生していない状態)であるとWHOが認めました。ところが、最近外国で麻しんに罹患し国内に持ち込まれ、国内での麻しんの患者さんが増加していると今年の3月に厚生労働省から注意喚起が出されました。昨年12月30日～今年の3月9日までに22名発生しています。ベトナムで感染した例が一番多くて10名です。世界では麻しんの患者さんが多数出ているので外国に出かける時は注意が必要です。

麻しんとはどんな病気？

麻しんウイルスに感染することによる重篤な感染症です。接触、飛沫、空気感染(主に空気感染)でうつる非常に感染力の強い病気です。約10日の潜伏期間の後に発病します。①**カタル期**(3～4日): 38℃以上の発熱、咳、鼻汁、結膜炎(眼の充血、眼脂)の症状が始まります。口内の頬粘膜に1mm大の白い斑点(コプリック斑といい麻しん特有の斑点)の症状があります。②**発疹期**(4～5日): 少し熱が下がったあとに再び高熱となり、赤い発疹がでます。発疹は顔から出始め体全体に広がります。発疹は互いに融合する傾向があります。カタル期の症状はさらに強くなります。③**回復期**(発疹後3～4日で解熱し、発疹は暗褐色に変化し色素沈着を残します。カタル症状も軽快します。合併症として、肺炎(約10%)、脳炎(0.05～0.1%)、中耳炎(約10%)、クループ(喉の奥が腫れて、声がかすれたり、息を吸うときにヒューヒューと音がします)があります。特効薬はなく基本的には対症療法を行います。重症の肺炎や脳炎では生命に危険がおよんだり後遺症を残すこともあります。麻しんの免疫のない人が麻しんの人と接触した場合は72時間以内にMRワクチンを接種すると麻しん発症の抑止または重症化の予防が期待できます。

いずれにしても麻しんの予防には**麻しん風しんワクチン(MRワクチン)**を2回接種することです。1歳になったら速やかに1回目のMRワクチンをうけ、小学校入学前の1年間に2回目を受けます。大人の方も麻しんの抗体が低い場合はMRワクチンを受けますが、妊婦さんは接種できません。



麻しんの症状

現在流行している病気は何ですか？

宮城県内では：第1位 感染性胃腸炎、第2位 伝染性紅斑、第3位 溶連菌感染症
亘理郡内では：第1位 溶連菌感染症、第2位 感染性胃腸炎、第3位 伝染性紅斑

大友医院病児保育室「あんず」より

新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも流行はおさまり、スギ花粉症も終了しました。これからは暑くなりますから熱中症にも注意が必要です。きちんと睡眠、休息を取り、栄養バランスに気を付けて体力保持に心がけ、暑さに負けないようにしましょう。



病児保育室「あんず」：電話 0223-35-6455